

すぎなさん



三宅小学校同窓会 会報誌

三宅小学校全校児童数 102名（男47名 女55名）平成27年3月20日現在

平成27年3月20日発行

第10号

ご挨拶

三宅小学校同窓会副会長 辻本峯雄（第48回 昭和32年卒 井ノ口区）



同窓会員の皆様におかれましては、愈々ご清祥のこととお慶び申し上げます。常日頃は同窓会活動に対し深いご理解と温かいご支援・ご協力を賜り心より厚くお礼申し上げます。この度、三宅小学校同窓会副会長を拝命いたしました。何分不肖にてその器ではありませんが、三宅小学校と同窓会の発展のため微力ながら努力して参りたいと思っておりますので皆様のご指導・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて、今年度、三宅小学校におきましては、「土曜日の教育活動推進事業」の指定を受けて月1回土曜授業（学校公開日）が行われ、休日に気軽に子供たちの元気な授業を参観することができたことや、恒例の「三世代交流まつり」も年々盛大に行われており、地域の方々の熱心なご指導と子供たちの楽しそうな様子から地域と学校・子供たちとの一体感を強く感じました。

同窓会といたしましても、地域における過疎化や少子化等の問題はありますが、今後とも地域の皆様の温かいご支援をいただき、子供たちの健やかな成長を願い、先生方や保護者の皆様とともに取り組んで参りたいと思っております。

結びに当たり、三宅小学校の益々の発展と同窓会会員の皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げご挨拶とさせていただきます。

地域に生きる

三宅小学校長

上野庄一



三宅小学校同窓生の皆様方におかれましては日々ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。日頃は本校の教育活動に何かとご支援ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

創立100有余年を迎えられた歴史と伝統ある三宅小学校に勤めさせていただいて2年が過ぎようとしております。今年度もまた地域の皆さんにお世話になり支えられて子供たちが多くのことを学ばせていただきました。その一つが「ふるさとを知る」ということです。校区には素晴らしい自然と昔ながらの伝統文化がたくさんあります。土曜日等を活用して出かけて行き自然に触れたり、地域の人からいろいろとお話を聞いたりしてふるさとを再発見できました。また、「地域の人とのふれあい」ができました。11月には恒例の「三世代交流まつり」が関係者のご協力・ご尽力により盛大に開催されました。様々な活動を通して子供たちが地域の方、ボランティアの方、祖父母等の多くの方とふれあうことができました。このようなことを通してふるさとを愛し大切にしていこうとする心を持って行ってほしいと思っております。

このように素晴らしい環境の中で、三宅小学校の子どもたちの健やかな成長のために、同窓会の皆様をはじめ地域とのつながりを大切にし、いろいろな教育活動を推進してまいりたいと考えております。会員の皆様方には今後共何かとお世話になりますが宜しくお願い申し上げます。

同窓会便り

同窓会が開かれました 第54回 (昭和38年) 卒業生 中西敏和 (井ノ口区)

平成24年に行われ、以後2年ごとに開く事が決定。今年度秋(民宿K)に於いての開催となりました。本会を楽しみに遠方より帰って来る者、都合悪く不参加の者もあったが久しぶりの集まりとあって、現状の話と昔話に花が咲き・・・小学校の同窓会が一番楽しいなどの声。各自共其れなりに年を重ねて来ましたが、段々と先祖に似て来た者も居り、元気に過ごしている事を喜び分かちあいました。

昭和32年春、桜満開だった三宅小学校の門をくぐり金治郎像の姿を見習い、勉学に勤しむつもりが、「良く遊び良く遊べ」の6年間だったと回顧します。26年発行の“すぎなさん”に当時の思い出が投稿されていますが、他にも色々な出来事があり、給食に出てくる脱脂粉乳の膜が口の周りにこべりついたり、裁縫室で行われた映画会での靴下の匂い。悪ふざけで横長の男子便所にバケツで水を入れ続け、排尿が外へあふれ出しグラウ



ンドまで垂れ流しになって困った事等、今となっては懐かしく恥ずかしい事ばかりかと思えます。そんな昔話を酒のつまみに宴も進み、カラオ

ケでは定番の高校三年生を歌い又の再会と健康を誓って閉会となります。

団塊の世代が終わりしらけの世代と言われますが、欲しいものを買ってもらえる時代でもなく、四季折々の遊びがあって温かい地域の目があって日が暮れるまで外で過ごしリンゴ箱に乗って力道山のプロレス中継を見ておりました。後に東京オリンピックが始まり高度成長・格差社会へと移りますが、安全安心と問われる事なく貧しくとも明日があり夢があった良き昭和の時代を過ごせた事は嬉しく思います。

最後になりましたが、当時36名がお世話になった恩師の方々又、監事様にお礼申し上げます。



もう卒業して46年経ったのかあ、来年は還暦です。

第60回 (昭和44年) 卒業生 出席番号 38番

昭和38年の春に三宅小学校に入学したが、今思い出すとどうやって小学校まで行ったのか思い出せない。たぶん母に手を引かれて歩いて行ったとも思うが、どうしても思い出せない。ただ小学校に入って思ったのは、下駄箱が汚かったことだ。靴が上と下に2足置ける様にしてある下駄箱だったが、上も下も泥で汚れていて嫌だった。教室は階段を昇って最初の部屋だったが、部屋に入った時黒板いっぱい描かれた桜や入学おめでとうと書かれた黒板は今も鮮明に覚えている。入学してから何をして過ごしたか忘れたが、1年の時に誤って硝子を割ったことを覚えている。それは給食室の食器類や大きな鍋等の入った二段になった硝子戸で、上の硝子戸が開いていたと思うが、友達に追いかけられたか何かで上に上ろうとして下の硝子戸をけてしまったのだ。その時は

どうしていいか判らずその場にいたと思うが、教員室にだれかに連れていかれて男の先生にどうしてこうなったか聞かれたと思う。自分はどうか答えたかは覚えていない。ただ5つ上の6年生の姉が心配して教員室の外で待っていてくれたのを覚えている。5年時に新校舎建設が始まり6年に新校舎に入り翌年第1回目の新校舎卒業生となる、卒業記念品は紅白の幕でした。6年の時は大きな思い出がある、それは鼓笛隊だ。当時小学校には鼓笛隊というのがあり、運動会前には縦笛や太鼓等を練習したが、自分は笛が苦手だったため、担当の先生から「おまえ、笛吹けんのなら指揮者してみろ。」と言われ、指揮者をやったことが1番の思い出だ。自分の指揮棒とホイッスルでみんなが動くのは楽しかった。6年の時は福井国体があり福井は皇后杯を頂いた。その杯が上中町に入って

(3ページへ続く)

(2ページより続く)

来られた時の式典が上中中学校であり、野木小学校と一緒に鼓笛をしたのを思い出す。隊の制服は三宅が青、野木が赤だった。来年は、60歳の中

高年になるが、余裕を持って人生を楽しみたいと思う今日このごろである。

『あの頃は・・・』

第62回 (昭和46年) 卒業生 西田一彦 (井ノ口区)

【三宅の里に萌えいづる】

私は昭和33年、東京タワー竣工の年に三宅の里井ノ口に生まれました。まさに萌えいづる(草木は芽生える)表現がぴったりです。

私の家は三宅小学校の近隣にあり、「すぎなさん」は小さい頃から親しみがありました。というのも、我が家の水道水は以前は「すぎなさん」から水を引いており、大切な生活水源だったんです。私はその清水によって育ちました。

【春まだあさき 民草の】

昭和40年(1965年)春、桜咲きほこる中、校門をくぐって三宅小学校に入学しました。

その頃は、ちょうど戦後高度成長時代の終盤期におけるいざなぎ景気によって、世の中がどんどん変わっていく時代でした。学校教育法における6・3・3・4年と16年間学んだ中で最も長い、しかも最初の6年間がこの三宅小学校です。

体力・気力・好奇心旺盛なこの頃に色んな事がありました。走馬燈のように頭の中を巡ります。ビートルズが来日しました(家中でロックに興味ある者いなかった)。巨人・大鵬・卵焼きが好きでした。3C時代(車、カラーテレビ、クーラー)といわれていましたが、当時我が家にはありませんでした。白黒テレビを見ていました。ゲバゲバ90分、シャボン玉ホリデー、スター誕生、ジャングル大帝、天才バカボン、巨人の星、鉄腕アトム、夜こっそり11PM、などなど。天地真理・小柳ルミ子・南沙織、グループサウンズも流行っていました「♪ 森トシカツ、泉ニシク、かーコンニャク・・・♪」。スカートめくりもしました(ごめんなさい)。象が踏んでも壊れない筆箱を踏んだら中の鉛筆が折れました。流行の「スマイルバッジ」を付けていました。雪が積もると肥料袋を尻に敷いて学校裏の土手を夕方まで滑ってました。

5年生の時です。アメリカの月面着陸宇宙船アポロ11号によって人類初の月面に降りた時は、授業を中断して教室で月からの衛星中継をみんなで見ました。ノイズの多い白黒動画だったけれど、お月さんの様子が目の前のテレビで見られることがとっても不思議でした。翌年6年生の修学旅行で大阪万博へ行き「月の石」を大行列に並んだ末、派手にライトアップされて光るものを、ちょっとだけ見ました(え～これが? ちいせ～な～ほんまもんかな～?)。

【御代の恵みに うるおひて】

“御代の御恵み”、すなわち祖先や親の恩を味わい、学校給食をいただくという意ですが、これを唱えていたのは戦中のことであり、私たちの頃はもちろん唱和していません。

でも、半世紀近く前の私たちの時代の給食には、へこんだアルミ製コップに入った生ぬるい脱脂粉乳、味気ないコッペパン、鯨肉の竜田揚げ、肉のほとんど入っていない薄黄色いカレー、などがメニュー。町の主要産業が稲作農業で、学校の周りも田んぼだらけだったのに、何で給食にご飯が出てこないんだろう? いろいろ不思議でした。脱脂粉乳の味を知っている私たち団塊世代に近い人たちは、これが美味しかったという評はほとんど皆無に近いでしょう。何時からか瓶入り牛乳に換わったときの美味しかったことを今でも覚えています。

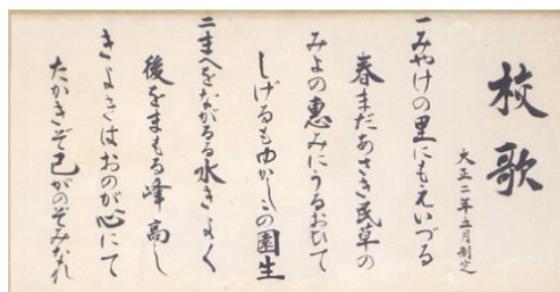
そういえば肝油ドロップも食べさせられました。字のとおり“サメの肝臓の油?”を甘いグミっぽくしたものです。今では見る影も無い体型ですが当時は痩せていて、これでビタミン不足を補っていたのでしょうか。

【茂るもゆかし この園生】

昭和46年(1971年)三宅小学校を卒業しました。

卒業写真を見ると、男子はみんな中学入学に備えて丸坊主です。当時は上中中学校の男子生徒は坊主頭に学生帽だったんです。頭がスースーして、とっても気恥ずかしかったことを覚えています。

今では校舎も新しく耐震化され、立派な体育館も出来、プールも出来、200mトラックのグラウンドになった現在では、ノスタルジックな風景は無くなっていますが、それはそれとして次世代を担う子供達の学舎であることに今も昔も何ら替わることはありません。スクールプランにあるように、みんな健康で人に優しく自身で考えられる子らに育つことを願ってやみません。



思い出

第72回（昭和56年）卒業生 河端ミカ（日笠区）

私は、三宅小学校、上中中学校、若狭高校と9年間、ソフトボールに熱中していました。その原点となったのが、その当時、学校単位で活動していた、三宅小ソフトボールクラブです。男の先生が熱心に指導してくださいました。ソフトボールを通して、4・5・6年生が学年を越えて仲良くなり、チーム一丸となり努力したことを覚えています。暑い夏には練習の合い間にグラウンド下に行って、湧き水を手ですくって飲むのが楽しみだった事を思い出します。今ほど、スポーツドリンクが充実していない時代でしたから…。

小学校時代のクラブ活動がきっかけで、その後もソフトボールを続け、高校時代には、目標としていた、福井県大会で優勝し、全国大会を経験しました。そして、かけがえのない友人にも出逢う事ができました。

現在、私は、小浜に嫁ぎましたが、縁あって、熊

川地区から三宅地区に移転してきました、老人福祉施設に勤務させていただいています。年に何回か、三宅小の生徒さんが、入居者の方と交流する為、来苑してくれます。赤色の体操服が懐かしく、又、皆で合唱してくれる校歌も懐かしく、口ずさんでいます。未来のある子供さん達を見ると希望いっぱいに光り輝いています。皆さんには、三宅小学校での学びや活動を大切に、思い出の目標を持ってがんばってほしいと思います。ご活躍を願っています。



三宅小学校 同窓会費 決算報告（見込み）

収入の部

項目	金額(円)	備考
前年度繰越	4,983	
会費	117,600	300円×392人
入会金	9,500	500円×19人
貯金利息	11	
計	132,094	

支出の部

項目	金額(円)	備考
事務費・会議費	5,200	用紙・切手・理事会費
同窓会会報誌	54,600	同窓会会報誌印刷費
維持管理費	48,678	芝生駐車場管理
同窓会事業基金	20,000	積立
計	128,478	



三宅地区グラウンドゴルフ愛好会の方々を中心に、芝生駐車場の手入れをしてくださいました。クラブ活動でグラウンドゴルフを楽しく練習しています。

差引残高

3,616円(見込み)は、次年度の会計に繰り越させていただきます。

編集後記

今回第10号を発刊するにあたり、多くの寄稿を頂きまして有り難うございました。子どもの頃の生活やその時代の様子が目に浮かび、同窓会員の皆様も懐かしく思い出されることと思います。今後も三宅小学校の良き伝統が受け継がれていきますように会員の皆様方にご支援頂けたら幸いです。

最後になりましたが、同窓会員皆様方のご健勝をお祈り申し上げます。平成27年3月吉日

平成26年度 三宅小学校同窓会 会報誌 編集委員

塚本 悟史 (仮屋区理事 第60回卒)
鹿野 菊夫 (仮屋区理事 第61回卒)
森口 由浩 (井ノ口区理事 第69回卒)
上田 正美 (井ノ口区理事 第69回卒)
瀧 成美・浦谷 時生 (同窓会幹事)

同窓会会報誌は、三宅小学校ホームページでも配信しています。

<http://kore.mitene.or.jp/~s-miyake/>

同窓会事務局住所

〒919-1542

福井県三方上中郡若狭町井ノ口49-11

三宅小学校内

電話：0770-62-0005

FAX：0770-62-0038

電子メール：miyake-es@edu.town.wakasa.fukui.jp